クリニカルパスウェイ
L-ADR(ドキシル)療法を受ける患者さんへ

2016年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	入院日/治療前日	治療1日目	2日目	退院日	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
目標	予定通り治療に臨むことが出来る。	アレルギーや副作用症状等の症状を早期発見、対応が出来る。	副作用を理解し、セルフケアが行える。	→	→
食事	制限はありません	→	→	→	→
活動	・制限はありません ・充分な休息を図り体調を整えてください	点滴投与中はなるべく安静にしてください。それ以外は特に活動に制限はありませんが、病室から出る際はマスク着用、手洗いを忘れずに行い感染予防に努めてください	→	→	→
検査処置	・体重測定・尿量の測定方法をお伝えします ・午後、翌日の点滴に向け点滴の針を留置します	・朝食後点滴を開始します ・場合により点滴投与時、心電図モニターをつけます ・起床時、15時の体重測定/尿量測定/飲水量のカウントをお願いします			
薬	・持参薬は指示のないかぎり普段通り服用してください ・入院時、現在服用中の薬は一週間分お持ちください				
清潔	特に制限はありません	点滴中はシャワーは控えて頂き、点滴終了後は制限はありません。点滴の針を留置している際は、シャワーの際に看護師に声をかけてください。		特に制限ありません	→
指導説明	・転倒予防の為履きなれた靴をお持ちください ・点滴と入院中の流れを看護師が説明します	主な副作用として手足症候群(手や足の皮膚細胞が障害され、赤く腫れたり水膨れができます)が、投与から3～5日後に表れやすいので予防の為に点滴投与中は手首・足首を冷やします。	≪主な副作用≫ □手足口症候群:刺激を避けるため保湿・保温/手袋の装着をします。 □口内炎(点滴後10～14日目):適宜うがいをし、口腔内の粘膜を傷つけないよう柔らかい毛のブラシで歯磨きをしてください。 □吐き気:無理せず食べられるものを摂取してください。症状が強くなる場合は医師に相談してください。 □骨髄抑制:易感染状態となるため、手洗い・うがい・マスク着用。なるべく人混みを避けてください。 他に何か気になる症状がありましたら、遠慮なくお知らせください。		